



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
 コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 悦哉
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 小峰 雅 (TEL) 022-385-7692
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,666	8.0	344	82.8	391	74.6	202	78.3
2022年3月期第1四半期	7,101	—	188	—	224	—	113	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 215百万円(144.9%) 2022年3月期第1四半期 88百万円(—%)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	29.15	—
2022年3月期第1四半期	16.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	29,550	17,561	53.5
2022年3月期	30,271	17,561	52.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 15,816百万円 2022年3月期 15,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	8.3	400	19.2	400	5.2	300	37.6	43.23
通期	32,000	2.3	1,400	14.0	1,500	10.7	900	9.3	129.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 ()、 除外 一社 ()

- (2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の
会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	7,004,000株	2022年3月期	7,004,000株
2023年3月期1Q	64,119株	2022年3月期	64,119株
2023年3月期1Q	6,939,881株	2022年3月期1Q	6,934,090株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載させている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）に関する政府の各種政策により経済活動は回復の兆しが見られました。一方で、ウクライナ情勢が見通せないなか原材料・エネルギー価格は引き続き高い水準にあり、また新たな変異株の出現による感染症の再拡大が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の売上高は76億66百万円と前年同四半期に比べ5億64百万円（8.0%）の増加となり、営業利益は3億44百万円と前年同四半期に比べ1億55百万円（82.8%）の増加、経常利益は3億91百万円と前年同四半期に比べ1億67百万円（74.6%）の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億2百万円と前年同四半期に比べ88百万円（78.3%）の増加となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業の売上高は、51億64百万円と前年同四半期に比べ8億98百万円（21.1%）増加、営業利益は4億97百万円と前年同四半期に比べ2億58百万円（108.3%）の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、酸素は電炉・鉄鋼向けの需要が減少しましたが、一方で、溶解アセチレンは圧接向けの需要は低調も価格改定により増加、窒素は保安検査向け、アルゴンは発電所工事向けに、食品用ガスは外食産業向けに需要が増加、液化石油ガス及び石油類は輸入価格の上昇の影響を受け、売上高は増加しました。

利益面におきましては、調達コスト上昇に伴う販売価格の改定に加え、前年同四半期に実施した多賀城工場の大規模定期修理がなかったこと等により、営業利益は増加となりました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業の売上高は、19億79百万円と前年同四半期に比べ79百万円（4.2%）増加、営業利益は44百万円と前年同四半期に比べ14百万円（49.0%）の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、溶接材料は自動車向けの需要が減少しましたが、溶接切断器具は消耗品及び大型工作機械の需要が増加したこと等により売上高は増加しました。営業利益は、売上総利益の増加に伴い増加となりました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業の売上高は、1億98百万円と前年同四半期に比べ5百万円（2.8%）減少、営業損益は前年同四半期に比べ6百万円増加し、3百万円の営業利益（前年同四半期は3百万円の営業損失）となりました。

当部門の状況といたしましては、自動車部品メーカーの国内外の設備投資需要は前年並みに推移しましたが、利益率の改善及び販売費の上昇の抑制により営業利益を確保しました。

製氷機関連事業

製氷機関連事業の売上高は、2億42百万円と前年同四半期に比べ4億30百万円（64.0%）減少、営業利益は30百万円と前年同四半期に比べ76百万円（71.6%）の減少となりました。

当部門の状況といたしましては、製氷・冷凍機械の大型物件の減少に伴う仕掛の減少により、売上高及び営業利益は減少となりました。

その他

その他の事業部門の売上高は、80百万円と前年同四半期に比べ24百万円（42.3%）増加、営業利益は11百万円と前年同四半期に比べ4百万円（68.0%）増加となりました。

当部門の状況といたしましては、医療機器の需要が増加したことにより、売上高及び営業利益は増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、295億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億21百万円減少となりました。この主な要因は、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類のエネルギー需要期の売上債権並びに器具器材関連事業における大型入札案件にかかる売上債権を回収したことで売上債権等が減少（7億36百万円）したことによるものであります。

負債は、119億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億21百万円減少となりました。この主な要因は、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類のエネルギーの需要が減少したこと及び器具器材関連事業における大型入札案件の支払い等により仕入債務が減少（6億6百万円）したことによるものであります。

純資産は、175億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ微増となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる減少（2億8百万円）がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上（2億2百万円）したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期累計期間並びに通期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,329,442	8,383,902
受取手形、売掛金及び契約資産	6,409,028	5,625,439
電子記録債権	1,858,999	1,906,029
商品及び製品	1,024,008	1,013,739
仕掛品	8,697	28,051
原材料及び貯蔵品	123,703	127,132
その他	241,617	313,294
貸倒引当金	△17,070	△16,399
流動資産合計	17,978,428	17,381,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,394,318	3,355,554
機械装置及び運搬具（純額）	767,324	730,610
土地	5,572,578	5,572,578
その他（純額）	333,473	307,140
有形固定資産合計	10,067,695	9,965,884
無形固定資産	195,055	185,701
投資その他の資産		
投資有価証券	1,097,898	1,084,709
その他	965,134	964,886
貸倒引当金	△32,580	△32,038
投資その他の資産合計	2,030,453	2,017,557
固定資産合計	12,293,204	12,169,143
資産合計	30,271,632	29,550,334
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,908,297	4,050,330
電子記録債務	675,587	926,582
短期借入金	3,230,000	3,230,000
1年内返済予定の長期借入金	121,792	121,792
未払法人税等	311,374	181,813
賞与引当金	382,304	192,060
役員賞与引当金	18,994	4,750
その他	956,950	1,319,267
流動負債合計	10,605,299	10,026,595
固定負債		
長期借入金	56,968	26,520
役員退職慰労引当金	419,617	344,365
退職給付に係る負債	1,359,147	1,355,134
資産除去債務	5,976	6,004
その他	263,080	229,755
固定負債合計	2,104,790	1,961,779
負債合計	12,710,090	11,988,375

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	1,122,978	1,122,978
利益剰余金	12,524,008	12,517,849
自己株式	△83,413	△83,413
株主資本合計	15,824,573	15,818,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,011	△2,285
その他の包括利益累計額合計	1,011	△2,285
非支配株主持分	1,735,956	1,745,830
純資産合計	17,561,541	17,561,959
負債純資産合計	30,271,632	29,550,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	7,101,654	7,666,513
売上原価	4,843,597	5,200,698
売上総利益	2,258,057	2,465,815
販売費及び一般管理費	2,069,873	2,121,777
営業利益	188,184	344,037
営業外収益		
受取利息	62	147
受取配当金	6,709	6,067
受取賃貸料	20,992	31,767
持分法による投資利益	1,335	—
保険解約返戻金	248	18,879
その他	23,210	17,347
営業外収益合計	52,557	74,209
営業外費用		
支払利息	7,965	7,645
賃貸費用	6,905	13,435
持分法による投資損失	—	5,962
その他	1,862	186
営業外費用合計	16,733	27,230
経常利益	224,008	391,017
特別利益		
固定資産売却益	21,296	1,196
投資有価証券売却益	44	—
特別利益合計	21,341	1,196
特別損失		
固定資産除売却損	1,486	1,040
特別損失合計	1,486	1,040
税金等調整前四半期純利益	243,863	391,172
法人税等	124,887	171,705
四半期純利益	118,975	219,467
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,485	17,161
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,490	202,305

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	118,975	219,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,567	△3,678
持分法適用会社に対する持分相当額	△371	△177
その他の包括利益合計	△30,938	△3,855
四半期包括利益	88,037	215,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,145	199,008
非支配株主に係る四半期包括利益	△108	16,603

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車 機器関連 事業	製氷機 関連事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	4,266,336	1,900,949	204,531	44,970	6,416,788	39,998	6,456,786	—	6,456,786
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	628,098	628,098	16,770	644,868	—	644,868
顧客との契約から生じる収益	4,266,336	1,900,949	204,531	673,068	7,044,886	56,768	7,101,654	—	7,101,654
外部顧客への売上高	4,266,336	1,900,949	204,531	673,068	7,044,886	56,768	7,101,654	—	7,101,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,266,336	1,900,949	204,531	673,068	7,044,886	56,768	7,101,654	—	7,101,654
セグメント利益又は損失(△)	238,758	29,860	△3,249	106,264	371,633	6,824	378,458	△190,274	188,184

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△190,274千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車 機器関連 事業	製氷機 関連事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	5,164,662	1,979,993	198,804	108,768	7,452,229	55,816	7,508,046	—	7,508,046
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	133,507	133,507	24,960	158,467	—	158,467
顧客との契約から生じる収益	5,164,662	1,979,993	198,804	242,276	7,585,736	80,776	7,666,513	—	7,666,513
外部顧客への売上高	5,164,662	1,979,993	198,804	242,276	7,585,736	80,776	7,666,513	—	7,666,513
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,164,662	1,979,993	198,804	242,276	7,585,736	80,776	7,666,513	—	7,666,513
セグメント利益	497,316	44,504	3,528	30,148	575,497	11,462	586,959	△242,922	344,037

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△242,922千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。